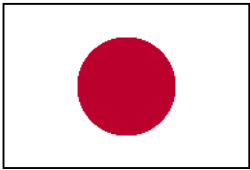


山岡記念財団

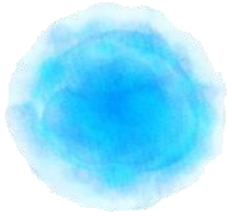
第5回 若者文化シンポジウム「日独の若者文化・ライフスタイルの研究」

# 審美性に関わる日独若者の文化間比較： 俳句の曖昧性の観点から



Jimpei Hitsuwari

京都大学大学院教育学研究科博士前期課程 2 年



# Outline

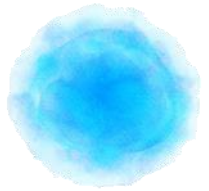
## Cultural Comparison

- Introduction
- Method
- Results
- Discussion

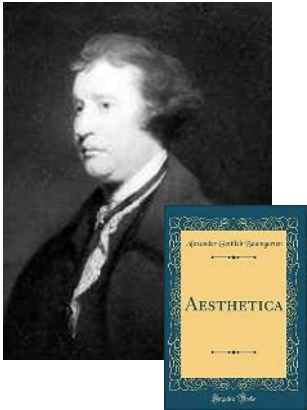




# Introduction



# Aesthetics in Germany



**Baumgarten**



**Kant**



**Fechner**



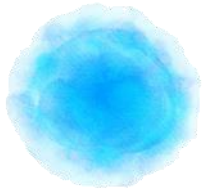
**Max Planck Institute  
for Empirical Aesthetics**



# Art in Germany

芸術支援は最優先事項。ドイツ・メルケル首相が語った「コロナと文化」





# Aesthetics of Poetry

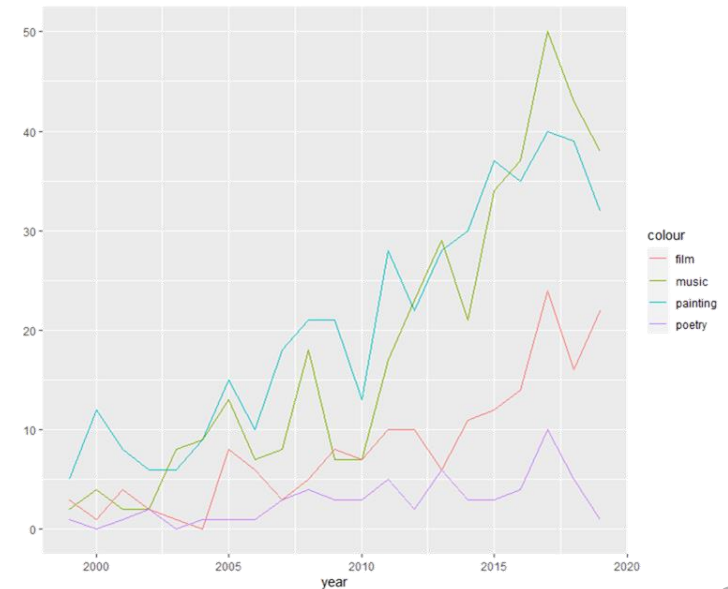
- ☑ 絵画や音楽の審美性に関わる知見が蓄積されつつある

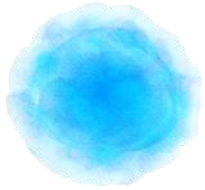
Koelsch (2014); Konecni (2015)

- ☑ 詩歌の心理学的研究は限られ萌芽的段階にある

Jacobs (2015)

審美性と芸術学に関わる論文数の推移





# Aesthetics of Poetry

## ☑ 感情

詩歌も強い感情を喚起しうる Wassiliwizky et al. (2017)

## ☑ モダリティ

詩歌を読む時、聴いた時や詩歌創作を見ている時と比べてより詩歌を好む

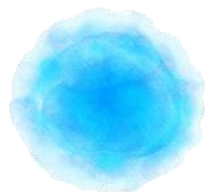
Hilscher & Cupchik (2005)

## ☑ 統制の容易さ

詩は外部的な形態である拍子、韻律、リズム、感情的な色付けを持つ構造 Piirto (2011)

## ☑ 文化

詩歌それ自体もその審美性も文化の影響を強く受ける Lehmann & Brinkmann (2019)



# Haiku Poetry



高浜虚子

”

風景を写すのに長い文章で写すことは退屈をするものであります。長い文章で景色のみを叙する事は不適當であります。が、此処に十七字という**極端に短い形の詩**がありまして、それで景色を諷うことをします。三十一字の歌でもいえない事はないのでありますが、それよりなお短い十七字が最も適したものであります。

☒ 俳句は余計なことは書かない，言わないという「**不言の美**」を持つ。

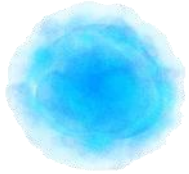
その特徴を極限まで適用して文芸的高みに到達した詩文が俳句である。 新田 (2013)





Wieder und wieder  
frage ich, wie viel Schnee  
draußen gefallen ist...

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり



# Aesthetics of Haiku Poetry

## ☑ イメージ

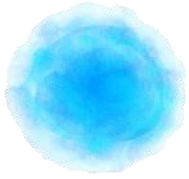
俳句は1, 2のコアイメージに依存する Dawn & Dennis (1998); Greene et al. (2012)

## ☑ 曖昧性

紡ぎ出す物語は多義多様, ときに曖昧である 新田 (2016)

## ☑ 鑑賞者依存

俳句は, 文字数が制限されているために省略や飛躍が多く, そこにある  
**「意味の隙間」**を読み手が埋める 植坂・光嶋 (2013)



# Ambiguity

## ☑ 意味の曖昧性

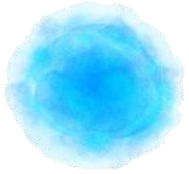
紡ぎ出す物語は多義多様，ときに曖昧である 新田 (2016)

- 俳句・状況の理解度と美的評価の関連
- 関連するパーソナリティは，曖昧性耐性（曖昧さを許容し，時に楽しめる力）

## ☑ 感情の曖昧性

俳句の情感は，はっきりとした喜怒哀楽であることは少ない 岸本 (2008)

- ポジティブともネガティブともいえない複合感情，高次感情と美的評価の関連
- 関連するパーソナリティは，高次感情の傾向性



# Ambiguity of meaning

- ☑ **意味の曖昧性**は、新規性・複雑性・不溶解性のどれかによって生まれる  
Budner (1962)
- ☑ 芸術の評価となると、曖昧性との関わりは多様 Swami et al. (2010); Muth et al. (2015)
  - 曖昧性が芸術の評価を高める Jakesch et al. (2013)
  - 中程度の曖昧性がより好まれる Jakesch & Leder (2009)
  - 曖昧性が取り除かれた時に芸術の評価が上がる Millis (2001); Swami (2013)
- ☑ 不透明な状況でもその状況に居座り続ける力 (曖昧性耐性) は芸術の中心をなす  
e.g., Jakesch & Leder (2009)



# Cultural differences

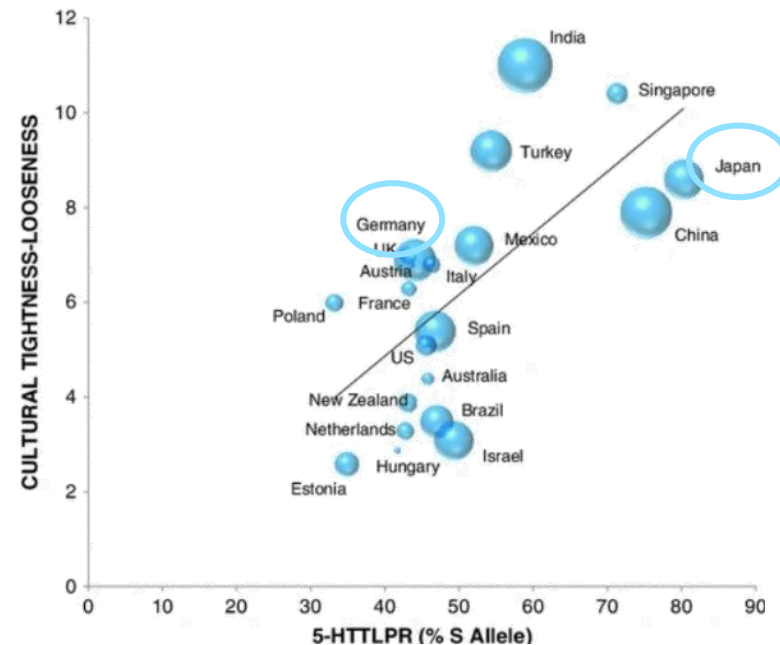
## ☑ 曖昧性耐性 (曖昧さへの態度)

■ Uncertainty avoidance の文化比較は存在する **Mrazek et al. (2013)**  
が、尺度の信頼性・妥当性が低い Spector et al. (2001)

■ 曖昧さの受容は文化の堅さの特徴：

「緩い」文化は曖昧さを受け入れやすく、「堅い」文化は曖昧さを拒絶し、確立された社会規範からの逸脱をより厳しく罰する Gelfand et al. (2011)

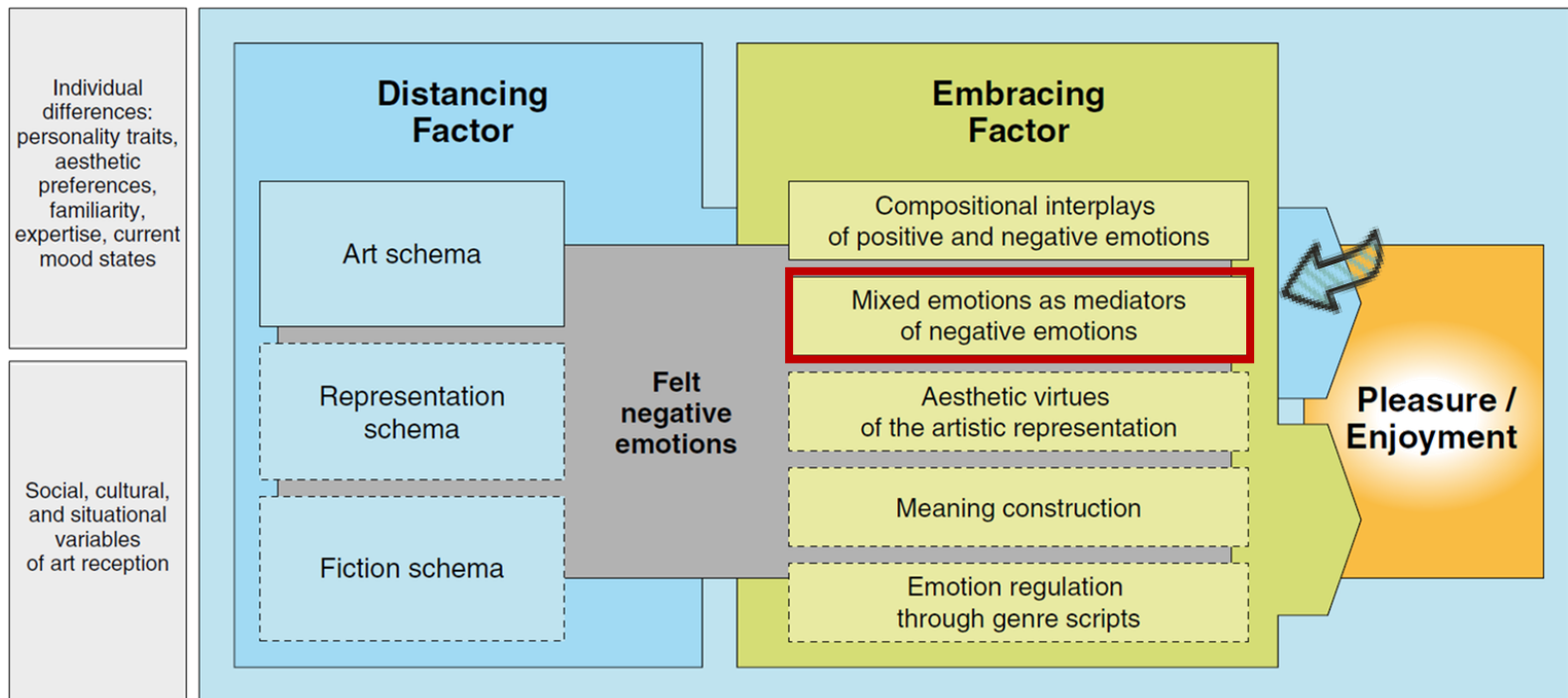
■ 硬さ—緩さの国別相関 Mrazek et al. (2013)



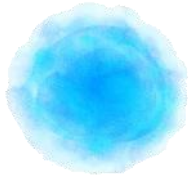


# Ambiguity of emotion

- ☑ 芸術体験中に感じるネガティブ感情は、混合感情や高次感情を媒介して、美的な感情（よりポジティブ）・美的評価に繋がりをうる Menninghaus et al. (2017)



Distancing-Embracing Model (Menninghaus et al., 2017)



# Cultural differences

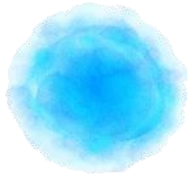
## ☒ 複合感情

- **畏敬の念**：雄大な自然や満天の星など，既存の認知的スキーマ（世界観や信念体系）を更新するような広大な刺激に対する感情反応 Keltner & Haidt (2003)
- **ノスタルジア**：過去への憧れ（思慕）と，その過去がもう体験できないものであるという悲しみが入り混じった複雑な感情 長峯・外山 (2020); Sedikides et al. (2008)

## ☒ 複合感情の感じ方には**文化差**があることが知られている Miyamoto et al. (2010)

- 脅威由来の畏敬の念は東洋で優位 Bai et al. (2017)
- ノスタルジアに関連する神経症傾向 (Seehusen et al., 2013) や主観的幸福感 (Wildschut et al., 2006) にも文化差

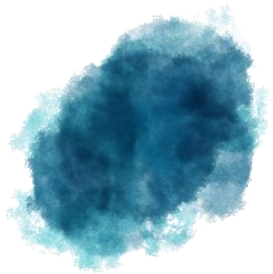




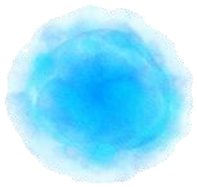
# Aims

- ☑ **意味・感情の曖昧性**が俳句の美的評価に与える影響, またその文化差を探索的に検討する
  - 曖昧性の程度と俳句の美的魅力との関係を探る（正・負・逆U字）
  - 曖昧性耐性は、両文化における俳句の美的評価を予測する
    - ドイツ語話者の曖昧性耐性が高い場合、ドイツ語話者は日本語話者よりも曖昧な俳句の 評価が高い
  - 両文化における畏敬の念とノスタルジアの喚起は俳句の美的評価を予測する





# Methods



# Participants & Materials

## ☒ 参加者

### ■ 日本語話者

450名 (女性 293名, 男性 155名, その他 2名,  $M = 39.52$ ,  $SD = 11.15$ ) on Crowdworks

### ■ ドイツ語話者 (German 243名, Polish 68名, その他 62名)

373名 (女性 150名, 男性 220名, その他 3名,  $M = 28.67$ ,  $SD = 9.17$ )

on Prolific corrected by Katharina Quaiser

## ☒ 刺激

### ■ CLASSIC HAIKU (Lowenstein, 2007) に収録されている, 芭蕉・蕪村・一茶・子規の俳句

### ■ 予備調査で感情価評定を行い, よりネガティブな俳句61句を採用

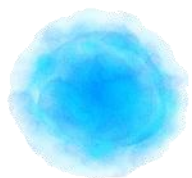


あきふか      となり      なに      ひと  
秋深き      隣は何を      する人ぞ

Der Herbst wird kühler.

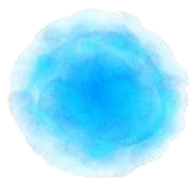
Ich frage mich,

was mein Nachbar tut.



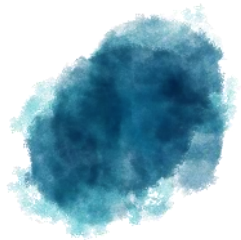
# Procedure

- ☑ パラダイムは先行研究に準拠 Belfi et al. (2018); Hitsuwari & Nomura (2021)
- ☑ 23の俳句を意味の曖昧性・畏敬の念・ノスタルジア・美的魅力など10の観点から評価 (次スライド参照)
  - PC画面上に俳句が7秒呈示された後、質問項目が出現
- ☑ **曖昧性耐性尺度** (ATS-IV: 今川, 1981, MAT-50: Norton, 1975), **特性畏敬** (Shiota et al., 2006), **ノスタルジア傾向** (楠見, 2014), 等の個人特性尺度にも回答

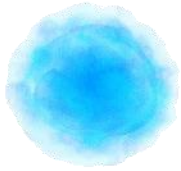


# Items

- ① この俳句の意味がどれくらい「**分からない**」と感じましたか？
- ② この俳句をどれくらい**美しい**と感じますか？
- ③ この俳句の**イメージ**はどれくらい鮮明ですか？
- ④ この俳句はどれくらい**ポジティブ**or**ネガティブ**なものですか？
- ⑤ どれくらい**ポジティブ**or**ネガティブ**な感情を抱きましたか？
- ⑥ この俳句からどれくらい**畏敬の念**を感じますか？
- ⑦ この俳句からどれくらい**ノスタルジア**を感じますか？
- ⑧ この俳句にどれくらい**感動**しますか？
- ⑨ この俳句にどれくらい**わびさび**を感じますか？
- ⑩ この俳句の意味がどれくらい**理解**できましたか？



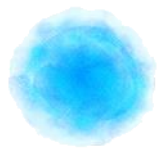
# Results



## Test-retest reliability

最初の4句を最後に再提示した

- ① この俳句の意味がどれくらい「分からない」と感じましたか？  $r_{q1} = 0.56$
- ② この俳句をどれくらい美しいと感じますか？  $r_{q2} = 0.60$
- ③ この俳句のイメージはどれくらい鮮明ですか？  $r_{q3} = 0.63$
- ④ この俳句はどれくらいポジティブorネガティブなものですか？  $r_{q4} = 0.59$
- ⑤ どれくらいポジティブorネガティブな感情を抱きましたか？  $r_{q5} = 0.59$
- ⑥ この俳句からどれくらい畏敬の念を感じますか？  $r_{q6} = 0.56$
- ⑦ この俳句からどれくらいノスタルジアを感じますか？  $r_{q7} = 0.57$
- ⑧ この俳句にどれくらい感動しますか？  $r_{q8} = 0.61$
- ⑨ この俳句にどれくらいわびさびを感じますか？  $r_{q9} = 0.55$
- ⑩ この俳句の意味がどれくらい理解できましたか？  $r_{q10} = 0.68$

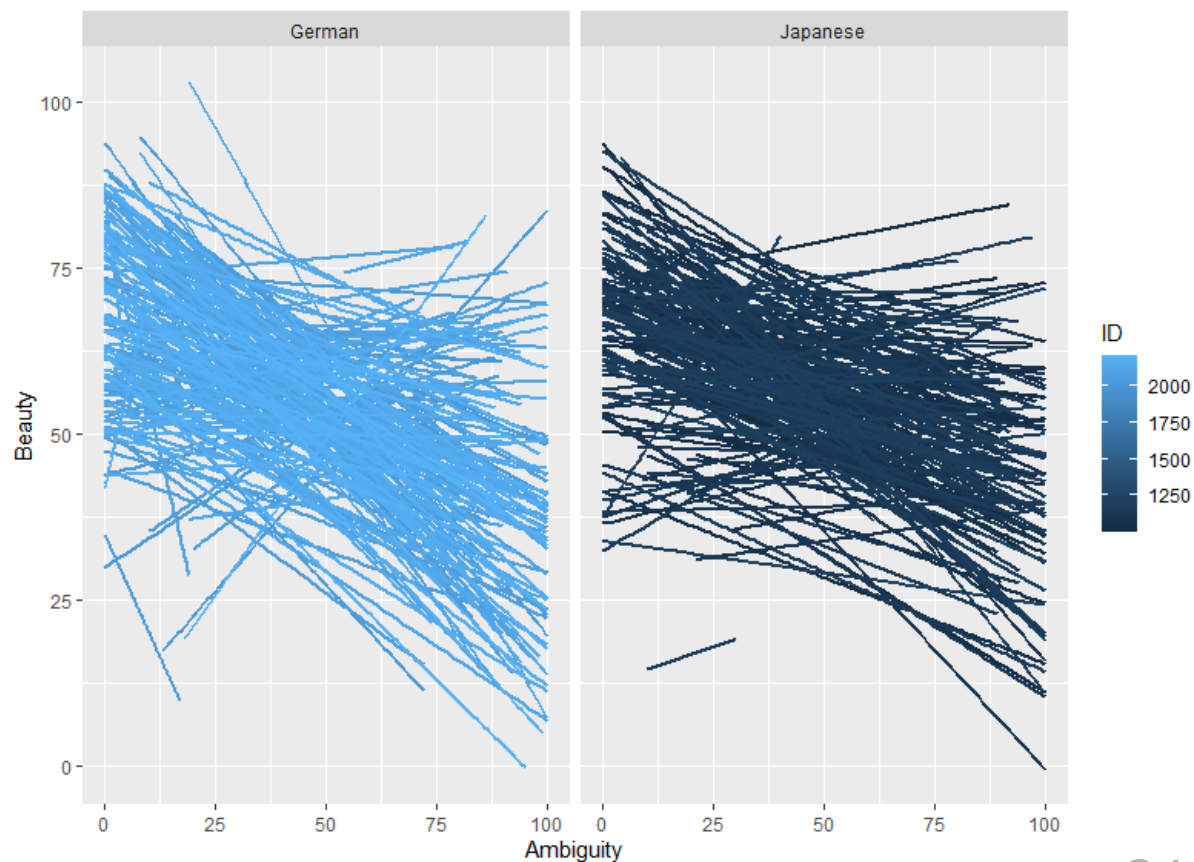


# Ambiguity of meaning and Beauty

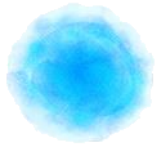
- ☑ German と Japanese の参加者から200人ずつを抽出し、意味の曖昧性 (X軸) と俳句の美しさ評定 (Y軸) をプロット



- ☑ 曖昧性の評価が上が  
るほど、俳句の美的  
評価は下がる傾向







# Ambiguity of meaning and Beauty

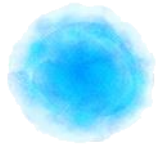
- ☑ 曖昧性が俳句の美的魅力をマイナスの方向に予測

( $b = -.23$ ,  $t = 57.75$ ,  $p = .00$ )

- ☑ 曖昧性と文化の交互作用も有意

( $b = -.08$ ,  $t = -7.01$ ,  $p = .00$ )

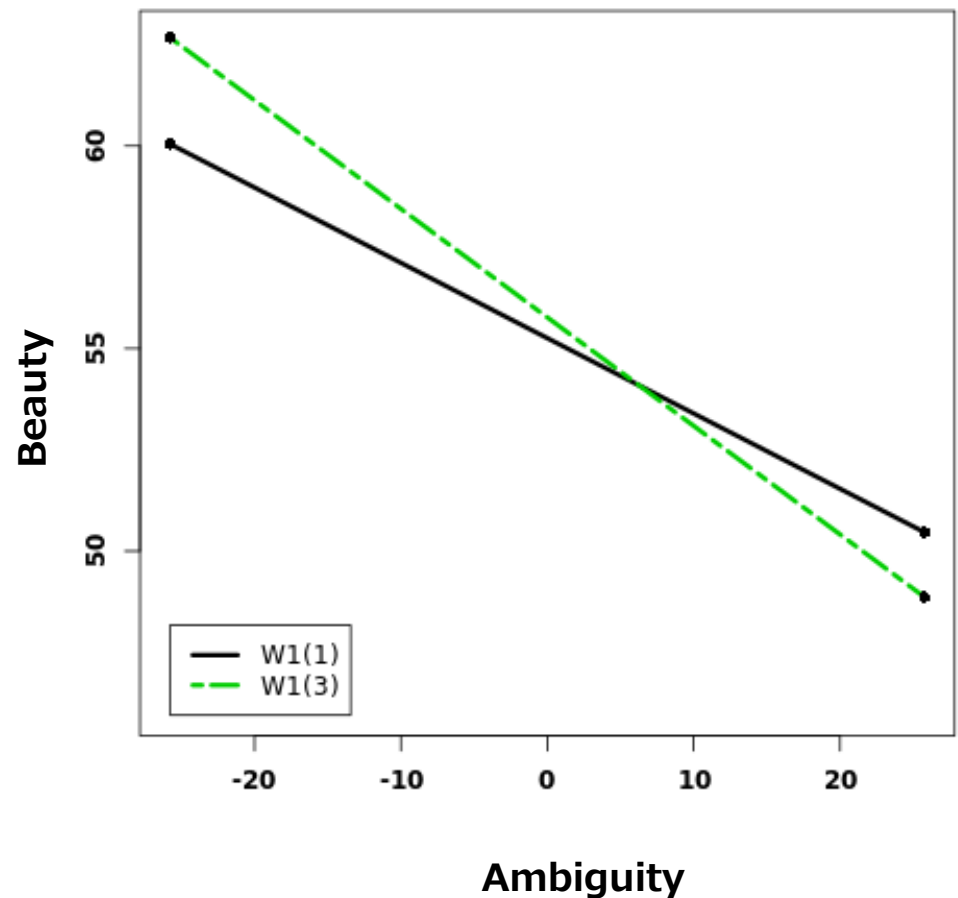
| Random effects      |             |          |          |         |            |
|---------------------|-------------|----------|----------|---------|------------|
| Groups              | Name        | Variance | SD       |         |            |
| ID                  | (Intercept) | 94.74    | 9.73     |         |            |
| haikuID             | (Intercept) | 47.89    | 6.92     |         |            |
| Residual            |             | 393.62   | 19.84    |         |            |
| Number of obs       | 18929.00    |          |          |         |            |
| groups ID           | 823.00      |          |          |         |            |
| haiku ID            | 61.00       |          |          |         |            |
| Fixed effects       |             |          |          |         |            |
|                     | Estimate    | SE       | df       | t value | p value    |
| (Intercept)         | 55.51       | .96      | 79.45    | 57.75   | < 2e-16 ** |
| Ambiguity           | -.23        | .01      | 18120.00 | -38.67  | < 2e-16 ** |
| Culture             | .52         | .74      | 821.90   | .70     | .49        |
| Ambiguity * Culture | -.08        | .01      | 18120.00 | -7.01   | .00 **     |

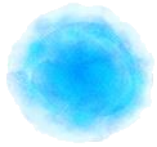


# Ambiguity of meaning and Beauty

☑ 緑がGerman, 黒がJapanese

曖昧さが取り除かれた時, 俳句の  
美的評価をより高くするのはドイツ人,  
曖昧さの知覚が高い時, 美的  
評価をより高くするのは日本人





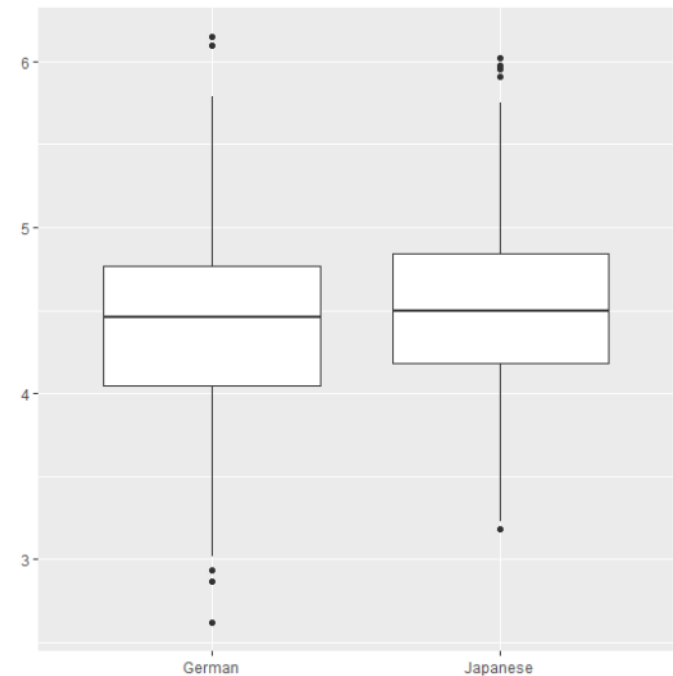
# Ambiguity Tolerance

## ☑ 曖昧性耐性の文化差

German: Mean = 4.40

Japanese: Mean = 4.49

で有意差 ( $t = 2.28, p = .02, d = .16$ )



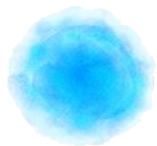
## ☑ 曖昧性耐性も曖昧性 耐性 × 文化 の交互作 用も非有意

### Random effects:

| Groups        | Name        | Variance | SD    |
|---------------|-------------|----------|-------|
| ID            | (Intercept) | 92.68    | 9.63  |
| haikuID       | (Intercept) | 59.00    | 7.68  |
| Residual      |             | 426.78   | 20.66 |
| Number of obs | 18929.00    |          |       |
| groups ID     | 823.00      |          |       |
| haikuID       | 61.00       |          |       |

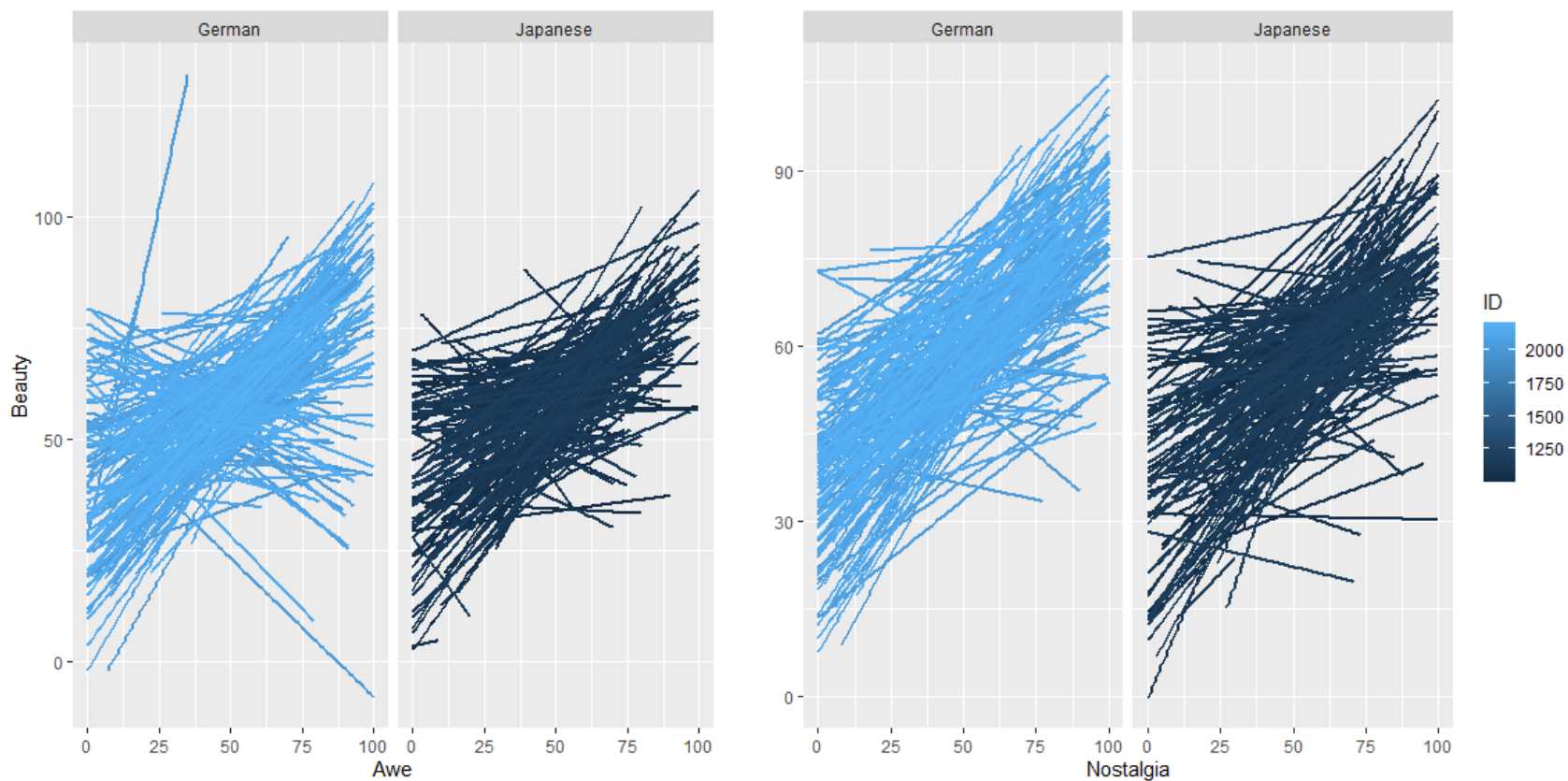
### Fixed effects

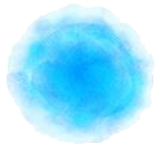
|                               | Estimate | SE   | df     | t value | p value   |
|-------------------------------|----------|------|--------|---------|-----------|
| (Intercept)                   | 55.40    | 1.05 | 75.71  | 52.67   | <2e-16 ** |
| Ambiguity Tolerance           | -1.25    | .68  | 822.22 | -1.85   | .07       |
| Culture                       | .41      | .74  | 821.81 | .56     | .58       |
| Ambiguity Tolerance * Culture | -.50     | 1.35 | 822.14 | -.37    | .71       |



# Ambiguity of Emotion

- ☒ 畏敬の念，ノスタルジアを感じるほどに俳句の美的評価が上がる（両文化）





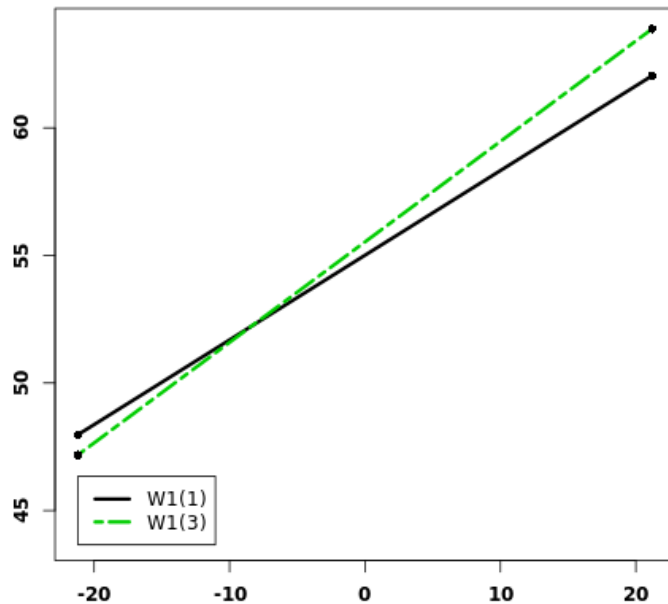
# Ambiguity of Emotion

☑ 畏敬の念もノスタルジアもGermanの方が傾きが急

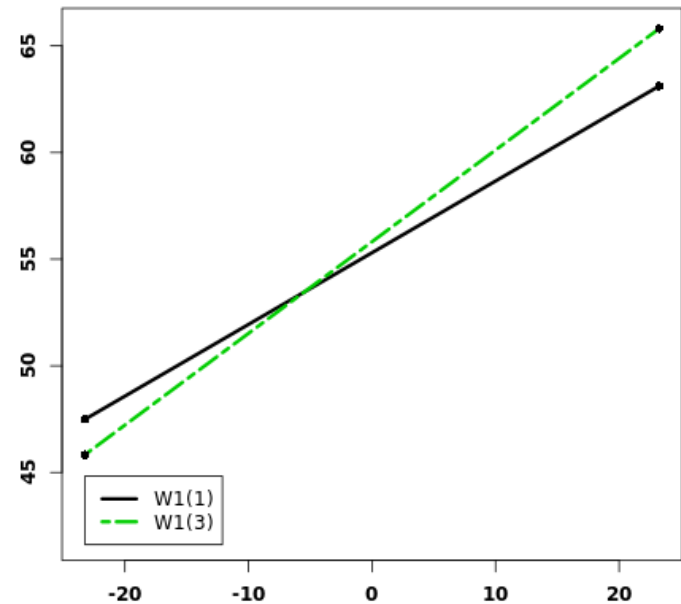


Germanの方が、畏敬の念もノスタルジアも俳句の美しさに与える影響が大きい

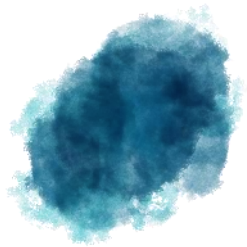
Beauty



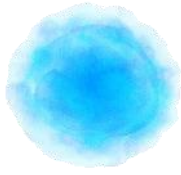
Awe



Nostalgia

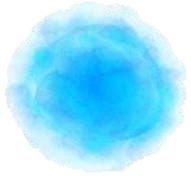


## **Discussion**



# Overview

- ☑ 意味の曖昧性が上がるほど、俳句の美的評価は下がる
  - その影響はJapaneseよりもGermanの方が大きい
  - 曖昧性耐性の文化差はあるが、曖昧性耐性は俳句の美しさを予測しない
- ☑ 畏敬の念、ノスタルジアを感じれば感じるほど、俳句の美的評価が上がる
  - 文化差があり、Germanの方がJapaneseより、畏敬の念、ノスタルジアの影響が大きい



# Ambiguity of meaning

意味の曖昧性が上がるほど、俳句の美的評価は下がる

- ☑ 曖昧性が取り除かれた時に芸術の評価が上がるという先行研究 (Millis, 2001; Swami, 2013) と一部一致
- ☑ イメージの鮮明性が上がれば上がるほど、俳句の美的評価が上がるという先行研究 (Belfi et al., 2018; Hitsuwari & Nomura, 2021) とも一致

俳句の曖昧性が美しさに繋がることは発見できなかった

■ 俳句は曖昧性が美しさに繋がるわけではなく、「一見曖昧な作品でも、曖昧性が解消される時」に美しさの評価が上がるのではないか

■ 今回の参加者は素人ばかりで、熟達者の評価だと結果が変わる可能性あり





# Ambiguity of meaning

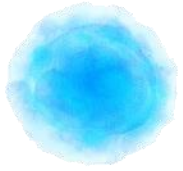
- 曖昧性の影響はJapaneseよりもGermanの方が大きい
- 曖昧性耐性の文化差はあるが、曖昧性耐性は俳句の美しさを予測しない

☑ 曖昧性耐性が芸術 (シュールレアリスム) の嗜好を予測するという先行研究 (Furham & Avison, 1997; Swami et al., 2010) と不一致

- ある特定の芸術領域 (非慣習的) の嗜好を予測する一方で、慣習的な芸術といえる俳句には関連が少ないことを示唆
- 曖昧性耐性尺度 (今川, 1981) の妥当性に課題 西川 (2007)

☑ 曖昧性耐性では説明できない文化差

- マインドフルネスや相互協調的自己観などの変数も検討の余地あり



# Ambiguity of Emotion

畏敬の念，ノスタルジアを感じれば感じるほど，俳句の美的評価が上がる

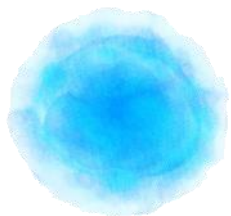
- 文化差があり，Germanの方がJapaneseより，畏敬の念，ノスタルジアの影響が大きい

☒ 畏敬の念，ノスタルジアを感じやすい個人が俳句の美的評価を上げる先行研究

(Hitsuwari & Nomura, 2021) を拡張

- ネガティブな俳句が多かった今回の刺激セットにおいて，畏敬の念やノスタルジアという複合感情が一定の役割を果たした可能性を示唆

☒ 畏敬の念やノスタルジアが芸術の美的評価に及ぼす影響の文化差を明らかにした初めての研究



# Conclusion

- ☑ 意味の曖昧性が上がるほど、俳句の美的評価は下がるが、その影響には文化差がある (JapaneseよりもGermanの方が大きい)
- ☑ 曖昧性耐性の文化差はあるが、曖昧性耐性は俳句の美しさを予測しない
- ☑ 畏敬の念、ノスタルジアを感じれば感じるほど、俳句の美的評価が上がるが、それには文化差がある (Germanの方がJapaneseより、畏敬の念、ノスタルジアの影響が大きい)